

博物館市民説明会 R7.6.26 芝川公民館（夜）

	<p>Q 新たな建物をたてるのか。</p>
文化課長	<p>博物館は新たに建物を建てようとするもの。</p> <p>現在埋蔵文化財センターに収蔵してあるものを既存の建物に移すことを検討したが、既存施設で収蔵物をすべて収蔵できる施設がない状況。学校などでも、1部屋2部屋空いているところがあったとしても、そこを使用することは、学校の管理上も文化財の管理上も好ましくない。</p> <p>もともと、市内に分散して保管していたが、埋蔵文化財センターがきて一か所に集約できた。管理上はこの形がよく、再び分散させたくない。</p> <p>現状、博物館をコンパクトにして、収蔵は一部分散せざるを得ない状態と考えている。</p> <p>温度や湿度の管理が必要なものは、博物館の収蔵庫に、民具などは既存施設を活用して収蔵していくたい。</p>
Q	<p>文化財保存管理が重要なことはわかっているが、新たな建物を建てないことも考えてほしい。</p> <p>学校の統廃合の問題や公共施設の管理の問題を含めて考えるべきではないか。</p>
市長	<p>市の方針として、新しいものを建てることしたい。ハコモノはいらないというご意見もあるが、必要なものは作らなければならない。</p> <p>市民文化会館がリニューアルし、病院についてもリニューアルする。できるものはリニューアルするが、郷土史博物館はないものなので新たに作る。</p> <p>これから子孫のためにいろいろな富士宮の文化を伝えていくためには、新しいものを作つて、その中に立派なものをしっかり収蔵して、そして後世に繋げていくという方針である。</p>
Q	<p>博物館を建てるという話になつてゐるが、財源（入場料、自己収入、寄付金など）の予定は。</p>
文化課長	<p>入場料は、基本構想の中で設定することとしているが、金額的には大きくない。</p> <p>博物館は社会教育施設であり、公民館や図書館と同様の位置づけになる。</p> <p>資料の展示や保存には電気代などかかるが、一番大きなものは人件費。</p> <p>人件費は、他の社会教育施設と同様にかかり、地域の方に社会教育を提供していく必要経費として、市が負担する。</p> <p>例えば、特別な展示品でお金がかかるようなものがあれば、その時は金額を高く設定するなど、今後検討していかなければならない。</p>
市長	<p>富士宮市は非常に財政豊かであり、非常に潤沢な財政運用をしている。</p> <p>今ふるさと納税が年間69億入る。そのうちの2分の1の34億5000万が利用できる金額となる。令和7年度も、前年度対比十数パーセントプラスということで、非常にありがたい税金が入ってくる。それを色んな形に使っていく。</p> <p>税収も潤沢に入つており、どこの大手の企業も増収増益ということで収入が入つてゐる状態。</p> <p>芝川中学を作る時も非常に潤沢にできた。学校の教育施設の積み立て基金を利用して作つたり、今度は小中学校34校へのエアコン設置を行う。こどもが少しでも涼しいところで運動したり、あるいはいざ災害があった時に避難場所としてエアコンが必要であることから、二年間でエアコンも入れていく。</p> <p>これから郷土史博物館を作るにも財源はあり、困らないということを皆さんには承知し、理解していただきたい。</p>

Q	<p>令和3年度の説明で、整備費の想定が17.5億円～22.5億円と話が合った。 今、令和7年度で4年経って物価も上がっている。想定の予算が変わることはないか。</p>
文化課長	<p>基本構想で示した整備費は、構想の規模で建設した場合、どれくらいかかるかということで数字を出したものであり、イコール予算というわけではない。 先ほどコンパクトにと言ったが、面積を小さくした時に今の金額でどのくらいになるか概算は出る。しかし、建物の材質や収蔵庫の大きさの部分でお金がかかったりするため、実際に一つ一つ必要なものを積み上げていかなければ、金額は出ない。ご存知の通り物価が上がっているので、構想の面積のものは、現在ではその金額では建たないことは確か。</p>
Q	<p>博物館に展示したいものを、市民だけではなく、周辺地域の人などとどういう風に関わりを持って、収蔵物や富士宮市の歴史を楽しめるのか、行ってみたい・見てみたい博物館という位置を決めているのかという話を聞けると思って来た。</p> <p>お金がかかるから箱を小さくしよう、分散しようという話でなく、富士宮市にあるものを、どのようにこどもたち、大人たちに伝えてくれるのか。 二年前の話より進歩した博物館に、こういう風に作りたいと思っているかということを聞きたかった。結局二年前とあんまり変わってないのでと思う。</p>
市長	<p>富士宮市いろいろな文化や芸術品を多くの市民の方に見ていただくために、展示や保管する場所をこれから作ろうというもの。例えば清水港へ豪華客船が来きて、乗客が降りてバスに乗ってどこか見ようという時に、富士宮に来た場合には世界遺産センターと浅間さんと白糸の滝しか見るものがいる。</p> <p>今まで富士宮の歴史がどんなものかを知りたくても、そういうものを知る場所がなかった。そういうものを知りたい場所にしたい。同時にそれが、ひいてはまちの活性化につなげたいということ。</p> <p>それをこれを展示しようというのは膨大な資料があるので、それを選択するだけでも大変。しかし、その資料は今地域の人たちが富士宮の歴史を知ることができるため非常に希少な材料になる。それをまた市としても埋もれさせておくわけにはいかないので、少しでも多くの人に見ていただきたい、知りたい。博物館ができれば色々な方が来て、富士宮の活性化にもつながり、あるいは色々な所の活性化にもつながっていくので、そのあたりはご心配なくしっかりといいものを作りたいと思う。</p>
文化課長	<p>この構想は令和3年度にできあがった構想。構想ができた段階からしばらく止まっていて、今年度やっと次の段階の基本計画を作りはじめている。</p> <p>ご意見にあった、資料の提示方法や展示の仕方、講座のやり方などは、今年度基本計画を策定する中で決めていく。</p> <p>こどもたちにはこういう見せ方がいいのでは、市外の方にはこういう見せ方もよいのでは、そういったところを色々検討した中で、博物館の中にどんなような機能を、設備を持たせるのかというところを検討していくのが基本計画ですので、今年はワークショップも行いながら、市民の皆さんから意見をいただきて、それを基本計画に生かしていきたいと思っている。</p>

Q	<p>ただ展示する、箱物を作るだけの構想ではなく、どのように活用していくかというところを市民の皆さんのが納得すれば、別に何億かかっても作ってほしいと思うかもしれないし、ただの陳列台を作るだけかというと、今それよりかほかのものにお金使ったほうがいいのではないか、という話になる。</p> <p>博物館をどういう風に捉えているかということをきちんとできれば、皆さんのが納得できる。その辺で話をできたらいいなと思う。</p>
文化課長	<p>今年度基本計画を作成しており、ある程度まとまった時点で市民の皆さんにも説明したい。それまでの間も意見をいただければ、例えば富士宮には紙の産業があります、会社などの歴史とコラボしたらどうか、また、福祉とコラボするようなやり方もあるので、色々な連携をしていくということを考えながらやっていきたいと思う。</p>
教育部長	<p>まさにご質問いただいたことを、基本計画の中で作ろうとしているところ。今例えばこういう博物館だったらしいなとか、こういう展示してほしいなというご意見をお聞かせいただければ、そちらも踏まえてよりよい計画を作りたいと思う。</p>
Q	<p>博物館を作りますと市長は言っているが、市民の考え方や、作ってほしい、作らなくてもいいという意見を集約しないのか。</p> <p>説明会に来れない人たちに、どういう風に市長の話を聞いてもらうのか。</p>
市長	<p>市民の皆さんのが全部聞くことはできないので、説明会で我々の考え方を聞いていただき、皆さんのが意見を聞くことの積み重ねをしていく。</p> <p>しかし、先ほどもご意見をいただき、反対ではないがちゃんとした趣旨が分かればよいというご意見もある、どれだけ説明してもわかっていない人もいる。そういう中でできるだけ前に進めていこうという声は大事にしないといけないし、本当は反対だがこういう風にすれば賛成だという人の意見もあり、色々な意見がある。</p> <p>全部の意見を聞くことはできないことは残念だが、では市長として、どういうことをしたら市民が幸せになるのか、富士宮市が豊かになるか、市民が納得いくか満足いくか、ということを探りながら決定していく。</p> <p>私は私なりの考え方を持っているが、できるだけ皆さんに、考え方に対して協力していただきたいとお願いしながら歩いている。ぜひご理解いただきたい。</p>
文化課長	<p>今回の市民説明会は、3ヶ所6回、北部、街中、芝川、夜と昼ということで6回予定している。</p> <p>Webサイトでは、説明会で出た意見や市長がお答えした内容についても皆さんにお知らせしていきたい。</p>
Q	<p>市長が、建物は作るという話をしていた。</p> <p>議会の中で、基本計画策定については最後の議長の一票で予算が通ったということは聞いているが、それによって議会で建物を作ることに対して承認されたという風に考えているのか。認識が違うと思う。</p>

	<p>(基本計画策定の予算については) 議会が多数決の原理に従って、そして一票でも賛成が多ければ議決されたということ。</p> <p>条例案の要望が出たが、その前に2月定例会の当初予算の段階で議決されていた。その後でまた住民投票の条例を出して審議すること自体は後戻りするような形になる。一度決着がついているのに、なぜあのようなことに後戻りして審議するかという、これは間違った考えではないかということ。一票の差でも多数決の原理で進めていかなければならない。</p> <p>今は基本計画の段階。基本計画の予算が付き、専門家にお願いして、基本的な計画を推し進めているが、次の段階としては基本設計となる。基本設計で色々と概略的なものを設計するが、その次の段階でまだ実施設計がある。実施設計ができた段階で、建設費が大体わかる。それまではまだ明確な設計金額が出てこない。実施設計ができた段階で、設計金額が出たところでそれが100パーセントとはかぎらない。今度はそれに対して色々な修正の費用が、追加費用やあるいは減額などがある。ですから、まだまだそれが決定ではない。</p> <p>ただ、前へ進んでいるということは、市民の皆さんに理解していただくような設計が一つ一つ積み重ねられて、市民のご意見をくみ取りながら前に進んでいかなければ賛同を得られないと思うので、そういう意味で賛同を得られるような努力をしていかなければならない。</p>
市長	<p>ですから建設までにはまだまだ時間的には相当かかる。</p> <p>自分の任期中に何としてでもやりたいのかと、そうではなくて、子孫のために富士宮が栄える、豊かになる、そういう将来のためにこういう郷土史博物館を作ったほうがいいという考えのもとに進めている。ぜひご理解いただきたい。</p>
文化課長	<p>今市長から、色々これから次の段階があるという話があった。</p> <p>現在は議会で基本計画を作る予算は何とか認められ、策定している状態。作った基本計画を市民の皆様に説明し、議会にも説明し、この基本計画であれば次の基本設計に移ってもよいという承認をいただいてから、基本設計の予算がついてくる。</p> <p>ひとつひとつ、市長の言った段階ごとに議会の承認を得て、それがずっと続いて建設費まで承認いただき、建設となれば、最終的に建物が建つというような道のりになります。</p>
Q	<p>まだまだ議会で審議をされ、それが通って最終的に行かないと建物ができないということか。</p> <p>市長が一番最初に、建物は作るという話をしてもう決まってしまったのかと考えたが、そうではないということですか。</p>
文化課長	<p>本当に建物の予算がつくのは、今言ったようにひとつひとつ設計をして、最終的な設計をした段階で、この設計でこの金額ならよいということで承認いただけたときになる。</p> <p>代わりの施設がないため、建物は建てたいというのが最終的な目標。ただ、そこまでの道のりがある。</p>

市長

私の「建てます」というのは建てる方向で頑張ります、ということ。基本計画が終わらなければ、次の段階に行けない。郷土史博物館を作るため、専門家も含めて色々な市民の意見も聞きながら基本計画を作り上る。

しかし、それを皆さんに見て理解してもらい、賛成してもらわなければ次の基本設計の予算が確保できない。基本設計までできたら実施設計、色々な壁はどうするのかなど細かい設計を全部した段階で提示し、そして議会に諮っていただいて、多数決の原理に従っていく。

そこまで進めていくには当局としてのやりぬくという強い意志がなければならない。しっかりとしたりーダーシップをもって、堅固な考え方をもってやっていくのが市長の務め。私はそういう方法で頑張っていきたい。

そういうことが民主主義のありようだと私は思っている。